

平成29年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
4	2款1項5目 企画費	里山社会・文化研究所設置運営事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 <small>町民ニーズ</small>	12	現在進めている構想については、町民の考えと乖離した取り組みになっており必要性は低い。
2 妥当性 <small>町が行わなければならないか</small>	13	住民との協働体制で事業を進める上では、住民の理解を得る必要がある。
3 効率性 <small>事業手法の効率はいいか。コスト削減の余地はないか。</small>	6	柱となる基本構想が抽象的（価値観、優位性）で、具体的な事業展開が見えず、暗中模索の状態が進んでいない。町民の生活に直結するような具体的なテーマを設定する必要がある。
4 成果 <small>目標の達成状況</small>	3	住民から研究内容の必要性が理解されておらず、成果が上がっていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	34
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
5	1 拡充する	設置の目的については理解するものの、構成メンバー等を再考し、研究項目を絞り込み町民が主体的に関わり、協働体制で取り組む研究所の設置が望まれる。 現事業、現体制については期限を設けて完了し、新たな事業展開をすべきである。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・研究所のメンバーについても再考し、目に見える事業成果を発信していくことが重要である。 ・この事業によって町民が受けるメリットを具体的に示す必要があり、精神論的な説明だけでは成果は上がらない。